群馬パーセントフォーアート推進事業

WORKSHOP

群馬県立敷島公園新水泳場の仮囲いを活用した参加型アートです。参加者のみなさまにシールを貼っていただき、作品を完成させます。



貼る 重ねる 眺める

貼る 重ねる 眺める

重ねる 眺める 生まれる

群馬県立敷島公園
新水泳場付近（前橋市敷島町 66 番地）

どなたでも参加可能 / 事前申込不要
参加費 無料 / 所要時間 約 10 分　※雨天中止
群馬県文化振興課 文化企画係 TEL 027-226-2592

2026.11.07 SAT 12:00-15:00

WORKSHOP について

「仮囲いにシールを貼って完成させる参加型アート」

群馬県では、県予算の一定割合をアート振興に充てるとした、「群馬パーセントフォーアート」推進条例を全国で初めて制定し、アーティストの活動を応援しています。このたび、現在建替え工事中の「群馬県立敷島公園新水泳場」建設現場の仮囲いをキャンバスに見立て、デザイン・アート作品を募集するコンテストを開催しました。全 79 作品の中から選ばれた最優秀受賞作品は、ワークショップで参加してくれる皆さんと一緒に完成させていく作品です。審査員からも高い評価を受けました。この場所が、作品を通じて、湯けむり国スポ・全スポぐんま 2029 と新水泳場、そして、そこに集えし、人たちをつなぐ場となるとうれしいです。

〈群馬県〉

DESIGN CONCEPT

『湯けむりの干渉帯』

仮囲いは、街と工事現場を分ける一枚の壁です。この壁を、群馬の風景と呼応する一枚の屏風に見立てます。そこに、湯けむりのような白い点を、みんなの手でつけていきます。手の届く高さ、子どもの目線、体の動きによって、白い点の集まり方は少しずつ変わります。

少し離れて、壁全体を見てください。小さな点が、湯けむりのように松のあいだを漂い、色鮮やかな一枚の青い屏風が風景の一部として浮かび上がってきます。工事がおわりまでのあいだ、この壁には、地域の記憶と、関わった人たちの記録が重なっていきます。仮囲いは、街と工事現場を分ける壁から、人の記憶とかかわりが重なる風景へと姿を変えます。

〈加藤雄大＋棚田悠介〉





加藤 雄大 ＋ 棚田 悠介
東京藝術大学大学院で建築を学ぶ。地域の風景や人々の活動に着目し、建築やアートを通じた場所づくりに取り組む。

群馬パーセントフォーアートとは

群馬県では、欧米初の「1% for art」の精神を生かしながら、アートの持つ様々な力を活用して、人々を引き付ける求心力を持つ群馬県の実現と県民の幸福度の向上を図るため、「群馬パーセントフォーアート」推進条例を制定しました。県予算の一定割合をアート振興に充てることを明文化した全国初の条例です。

主催：群馬県
共催：一般社団法人群馬県建設業協会・群馬県建設事業協同組合
協力：清水建設・池下工業建設工事共同企業体
デザイン：加藤雄大＋棚田悠介
（東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻）
問い合わせ：群馬県文化振興課文化企画課係（027-226-2592）

【会場案内図】群馬県立敷島公園新水泳場付近（前橋市敷島町 66 番地）



